変額個人年金保険GF(Ⅳ型)〈年金原資保証特約(Ⅳ型)付加〉

ハイタッチ

2012年度 特別勘定の現況

●投資環境(2012年度)

日本株式市場 日経平均株価は期初10,161円で始まりました。中国の経済成長鈍化への懸念や米国の経済指標の悪化などによる世界景気減速懸念等から同株価は下落傾向を示しました。また、欧州債務問題の再燃等により株価下落に拍車がかかり、6月に日経平均株価は当期最安値となる8,238円まで下落しました。その後一進一退のもみあいの展開がしばらく続きましたが、11月に衆議院が解散され、12月の総選挙で自民党が圧勝すると、安倍政権が日銀に無制限の金融緩和を求める姿勢を明確にしたこと等から急ピッチに円安が進行しました。更にその他同政権による機動的な財政政策や成長戦略など矢継ぎ早の政策発動を示唆したこと等を受け、政策への信頼感や企業業績の改善期待等から3月まで同株価は上昇傾向を示しました。3月に日経平均株価は当期最高値となる12,650円まで上昇し、期末は12,397円で終了しました。

外国株式市場 期初、S&P500は1,408.47、FTSE100は5,768.45で始まりました。くすぶる欧州債務問題の再燃でリスク回避の動きから株価は軟調に推移し、6月にはS&P500は1,266.74、FTSE100は5,229.76の今期最安値をつけましたが、7月のドラギ欧州中央銀行総裁の「ユーロ圏の安定のためにあらゆる手段を講ずる用意がある」との発言を契機として、また米連邦準備制度理事会による量的緩和への期待等を背景として、リスク資産を選好する動きが強まり、株価はその後年度末に向け緩やかな上昇傾向を示しました。3月にはS&P500が2007年以来の史上最高値更新となる1,570.28を付け、FTSE100は6,533.99の今期最高値をつけるなど株価は堅調に推移し、期末は若干値を戻しS&P500が1,569.19、FTSE100は6,411.74で終了しました。

日本債券市場 10年国債利回りは期初1.01%で始まり、長期化する円高・デフレや日銀の追加緩和期待等により7月に同利回りは0.7%程度まで低下しました。その後一進一退のもみあいがしばらく続きましたが、白川日銀総裁の後任となる黒田新総裁が、2%の物価安定目標を達成するためにマネタリーベースと長期国債・上場投資信託の保有額を2年間で2倍に拡大することや長期国債買い入れの平均残存期間を2倍以上に延長することなど、大胆な金融緩和策を打ち出すと、このいわゆる「異次元緩和」への期待感から同利回りは低下傾向を示し、3月には0.51%まで低下しました。期末は若干上昇して10年国債利回りは0.55%で終了しました。

外国債券市場 期初、米国10年国債利回りは2.22%、ドイツ10年国債利回りは1.84%で始まりました。深刻化する欧州債務問題への懸念を背景に、相対的に高い信用力を持つ米国やドイツの国債が選好された結果、7月に米国10年国債利回りは1.37%、ドイツ10年国債利回りは1.12%まで低下しました。1月に公表された米連邦公開市場委員会議事録で、一部のメンバーが2013年中の国債購入終了の可能性に言及したことが判明したこと等により、米国10年国債利回りが一時上昇しましたが、その後一進一退のもみあいの展開となり、期末には米国10年国債利回りは1.84%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で終了しました。

外国為替市場 米国の長期金利の低下や欧州債務問題により、円は逃避通貨として選択されたことから、対米ドルのみならず、ユーロに対しても円高傾向を示しました。9月には米連邦準備制度理事会が導入を決定した量的緩和第三弾を受け、対ドルで円は今期最高値の1米ドル＝77.13円まで上昇しました。欧州債務問題の南欧への波及からユーロは下落を続け、7月には2000年以来のユーロ安・円高水準となる1ユーロ＝94.11円を付けました。その後は、日銀の大胆な金融緩和への期待や燃料輸入の増加の影響等で拡大する日本の貿易赤字等を背景に期末にかけて円安傾向となり、期末には1米ドル＝94.22円、1ユーロ＝120.78円で終了しました。

●特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移	各特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2012年度決算(決算日:2013年3月31日)を行いました。当資料は2012年度の運用状況をご報告するものです。
(3ページ以降は特別勘定レポート(2013年4月発行(2013年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。)

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	MH世界バランス30	MH世界バランス50
現預金・コールローン	129	15
有価証券	3,257	784
公社債	－	－
株式	－	－
外国証券	－	－
公社債	－	－
株式等	－	－
その他の証券	3,257	784
貸付金	－	－
その他	1,673	1,689
貸倒引当金	－	－
合計	5,060	2,489

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	MH世界バランス30	MH世界バランス50
利息配当金等収入	588	9
有価証券売却益	－	－
有価証券償還益	－	－
有価証券評価益	586	18
為替差益	－	－
金融派生商品収益	－	－
その他の収益	－	－
有価証券売却損	－	－
有価証券償還損	－	－
有価証券評価損	655	－
為替差損	－	－
金融派生商品費用	－	－
その他の費用及び損失	－	－
収支差額	519	27

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
MH世界バランス30	DIAMバランス30VA(適格機関投資家限定)	24,576	30,000	2,944,929	3,020,015
MH世界バランス50	DIAMバランス50VA(適格機関投資家限定)	815,863	1,063,000	227,983	297,042

※単位未満切捨て

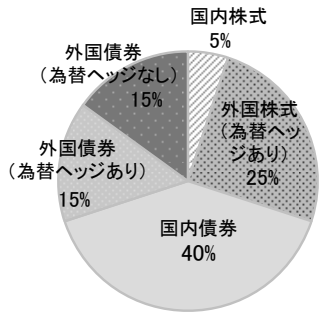
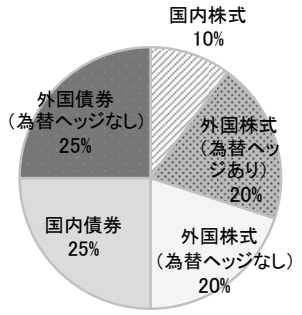
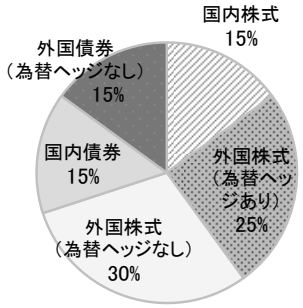
●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅳ型)〈年金原資保証特約(Ⅳ型)付加〉 ハイタッチ	943	5,845

※単位未満切捨て

特別勘定（ファンド）の内容

種類	総合型		
特別勘定の名称	MH世界バランス30	MH世界バランス50	MH世界バランス70
設定日	2009年5月7日	2013年1月31日	初回移転日 *1
特別勘定の運用方針 *2	投資対象とする投資信託を通じ、日本を含む世界の株式および公社債などに分散投資を図り、中長期的な財産の成長を目指した運用を行います。		
	基本資産配分は国内株式5%、外国株式（為替ヘッジあり）25%、国内債券（短期金融資産を含む）40%、外国債券（為替ヘッジあり）15%、外国債券（為替ヘッジなし）15%です。	基本資産配分は国内株式10%、外国株式（為替ヘッジあり）20%、外国株式（為替ヘッジなし）20%、国内債券（短期金融資産を含む）25%、外国債券（為替ヘッジなし）25%です。	基本資産配分は国内株式15%、外国株式（為替ヘッジあり）25%、外国株式（為替ヘッジなし）30%、国内債券（短期金融資産を含む）15%、外国債券（為替ヘッジなし）15%です。
管理運営方針	当社は、当該特別勘定の資産運用を、主として投資対象となる投資信託に投資することにより行います。 当社は、保険契約の異動（解約・積立金移転等）等に備えて、当該特別勘定資産の中で若干の現預金を保有します。		
主な投資対象となる投資信託	DIAMバランス30VA （適格機関投資家限定）	DIAMバランス50VA （適格機関投資家限定）	DIAMバランス70VA （適格機関投資家限定）
			
資産運用関係費用	年率0.21%程度（税抜年率0.20%程度）*3		
運用会社	DIAMアセットマネジメント		

＊1　当該特別勘定に初めて積立金の自動移転が行われる日をいいます。

＊2　特別勘定の資金動向、市況動向等に急激な変化が生じた場合、ならびに純資産総額が運用に支障をきたす水準となった場合等、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用が出来ない場合があります。

＊3　資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

・ハイタッチ（変額個人年金保険GF(Ⅳ型)<年金原資保証特約(Ⅳ型) 付加>）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用状況

2013年3月末現在

MH世界バランス30

●ユニットプライスの推移

●特別勘定　純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	3,257	64.4%
現預金その他	1,802	35.6%
純資産総額	5,060	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●ユニットプライスの期間収益率

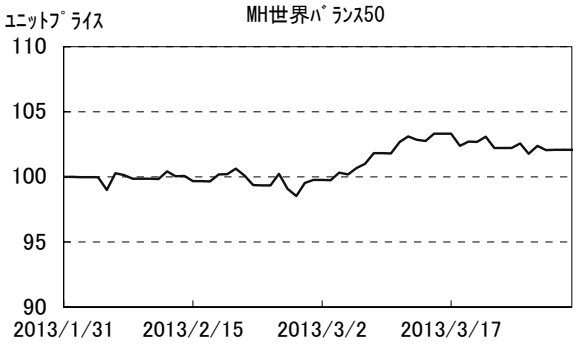
	ユニットプライス	前月比
2012年4月30日	104.63	−0.60%
2012年5月31日	101.98	−2.54%
2012年6月30日	102.47	0.48%
2012年7月31日	103.46	0.97%
2012年8月31日	103.75	0.28%
2012年9月30日	104.69	0.91%
2012年10月31日	104.63	−0.06%
2012年11月30日	105.77	1.09%
2012年12月31日	107.24	1.39%
2013年1月31日	109.73	2.33%
2013年2月28日	110.26	0.48%
2013年3月31日	111.87	1.46%

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
1.46%	4.32%	6.85%	6.27%	11.88%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

MH世界バランス50

●ユニットプライスの推移



●特別勘定　純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	784	98.0%
現預金その他	15	2.0%
純資産総額	799	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●ユニットプライスの期間収益率

	ユニットプライス	前月比
2012年4月30日	−	−
2012年5月31日	−	−
2012年6月30日	−	−
2012年7月31日	−	−
2012年8月31日	−	−
2012年9月30日	−	−
2012年10月31日	−	−
2012年11月30日	−	−
2012年12月31日	−	−
2013年1月31日	100.00	−
2013年2月28日	99.53	−0.46%
2013年3月31日	102.06	2.54%

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
2.54%	−	−	−	2.07%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

MH世界バランス70

当特別勘定への初回移転日*を含む月の、翌月から作成する予定です。

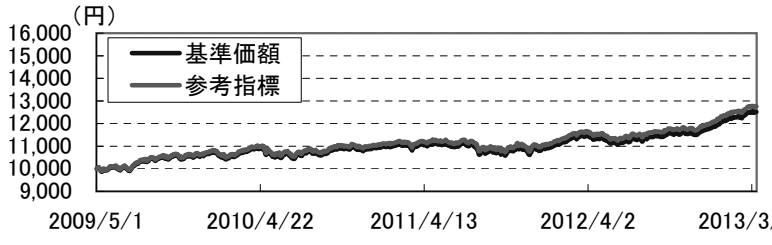
＊当該特別勘定に初めて積立金の自動移転が行われる日をいいます。

・ハイタッチ(変額個人年金保険GF(Ⅳ型)<年金原資保証特約(Ⅳ型) 付加>)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

組入投信の運用状況
【DIAMバランス30VA（適格機関投資家限定）】

2013年3月29日現在

●基準価額の推移（税引前分配金再投資）



●当月末基準価額・純資産総額

基準価額	12,515 円
純資産総額	3,259 百万円
設定日	2009年5月7日
決算日	原則 毎年10月22日
信託期間	無期限

※基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
※基準価額および参考指標は設定日（2009年5月7日）の前日を10,000として計算しています。
※基準価額は信託報酬（純資産総額に対して、年率0.21%（税抜0.20%））控除後です。

●騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.70%	5.14%	8.51%	9.44%	15.75%	25.15%
参考指標	1.76%	5.26%	8.76%	9.97%	17.06%	27.63%
差	−0.06%	−0.12%	−0.25%	−0.52%	−1.31%	−2.48%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※各マザーファンドのベンチマークを基本資産配分比率で合成したものを参考指標といたします。

●マザーファンド組入状況

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	差異	当月騰落率
国内株式	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ（最適化法）・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	5.0%	3.0%	−2.0%	7.0%
国内債券	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	40.0%	37.7%	−2.3%	1.1%
外国株式（ヘッジあり）	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	25.0%	25.0%	0.0%	2.6%
外国債券（ヘッジなし）	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	15.0%	−0.0%	1.3%
外国債券（ヘッジあり）	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	14.9%	−0.1%	0.6%
現金等	−	−	4.5%	4.5%	−
合計	−	100.0%	100.0%	0.0%	−

※比率は純資産総額に対する割合です。
※計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

●マザーファンドのベンチマーク

【国内株式】	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ（最適化法）・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
【国内債券】	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：NOMURA-BPI総合
【外国株式（ﾍｯｼﾞあり）】	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：MSCIｺｸｻｲ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（円ﾍﾞｰｽ、配当込み、為替ﾍｯｼﾞあり）
【外国債券（ﾍｯｼﾞなし）】	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：ｼﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（除く日本、円換算ﾍﾞｰｽ、為替ﾍｯｼﾞなし）
【外国債券（ﾍｯｼﾞあり）】	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：ｼﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（除く日本、円ﾍﾞｰｽ、為替ﾍｯｼﾞあり）

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

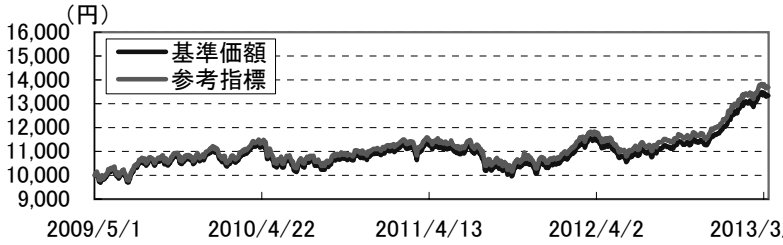
設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【DIAMバランス50VA（適格機関投資家限定）】

2013年3月29日現在

●基準価額の推移（税引前分配金再投資）



●当月末基準価額・純資産総額

基準価額	13,337 円
純資産総額	785 百万円
設定日	2009年5月7日
決算日	原則 毎年10月22日
信託期間	無期限

※基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
※基準価額および参考指標は設定日（2009年5月7日）の前日を10,000として計算しています。
※基準価額は信託報酬（純資産総額に対して、年率0.21%（税抜0.20%））控除後です。

●騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.59%	9.45%	17.98%	16.38%	19.97%	33.37%
参考指標	2.70%	9.59%	18.33%	16.97%	21.44%	36.88%
差	−0.11%	−0.15%	−0.35%	−0.59%	−1.47%	−3.51%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※各マザーファンドのベンチマークを基本資産配分比率で合成したものを参考指標といたします。

●マザーファンド組入状況

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	差異	当月騰落率
国内株式	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ（最適化法）・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	10.0%	10.0%	0.0%	7.0%
国内債券	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	25.0%	25.0%	0.0%	1.1%
外国株式（ヘッジなし）	外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	20.0%	19.9%	−0.1%	4.0%
外国株式（ヘッジあり）	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	20.0%	20.1%	0.1%	2.6%
外国債券（ヘッジなし）	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	25.0%	24.9%	−0.1%	1.3%
現金等	−	−	0.1%	0.1%	−
合計	−	100.0%	100.0%	0.0%	−

※比率は純資産総額に対する割合です。
※計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

●マザーファンドのベンチマーク

【国内株式】	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ（最適化法）・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
【国内債券】	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：NOMURA-BPI総合
【外国株式（ﾍｯｼﾞなし）】	外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：MSCIｺｸｻｲ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（円換算ﾍﾞｰｽ、配当込み、為替ﾍｯｼﾞなし）
【外国株式（ﾍｯｼﾞあり）】	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：MSCIｺｸｻｲ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（円ﾍﾞｰｽ、配当込み、為替ﾍｯｼﾞあり）
【外国債券（ﾍｯｼﾞなし）】	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：ｼﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（除く日本、円換算ﾍﾞｰｽ、為替ﾍｯｼﾞなし）

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

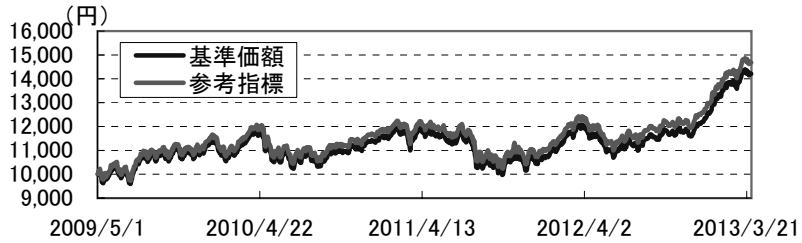
設定・運用は
DIAMアセットマネジメント　DIAM ダイアム

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【DIAMバランス70VA（適格機関投資家限定）】

2013年3月29日現在

●基準価額の推移（税引前分配金再投資）



●当月末基準価額・純資産総額

基準価額	14,204 円
純資産総額	1 百万円
設定日	2009年5月7日
決算日	原則 毎年10月22日
信託期間	無期限

※基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
※基準価額および参考指標は設定日（2009年5月7日）の前日を10,000として計算しています。
※基準価額は信託報酬（純資産総額に対して、年率0.21%（税抜0.20%））控除後です。

●騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.23%	11.76%	21.38%	19.11%	22.86%	42.04%
参考指標	3.34%	11.93%	21.75%	19.76%	24.57%	46.77%
差	−0.12%	−0.17%	−0.37%	−0.65%	−1.70%	−4.73%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※各マザーファンドのベンチマークを基本資産配分比率で合成したものを参考指標といたします。

●マザーファンド組入状況

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	差異	当月騰落率
国内株式	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ（最適化法）・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	15.5%	0.5%	7.0%
国内債券	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	14.6%	−0.4%	1.1%
外国株式（ヘッジなし）	外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	30.0%	30.2%	0.2%	4.0%
外国株式（ヘッジあり）	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	25.0%	24.7%	−0.3%	2.6%
外国債券（ヘッジなし）	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	14.7%	−0.3%	1.3%
現金等	−	−	0.2%	0.2%	−
合計	−	100.0%	100.0%	0.0%	−

※比率は純資産総額に対する割合です。
※計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

●マザーファンドのベンチマーク

【国内株式】	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ（最適化法）・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
【国内債券】	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：NOMURA-BPI総合
【外国株式（ﾍｯｼﾞなし）】	外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：MSCIｺｸｻｲ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（円換算ﾍﾞｰｽ、配当込み、為替ﾍｯｼﾞなし）
【外国株式（ﾍｯｼﾞあり）】	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：MSCIｺｸｻｲ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（円ﾍﾞｰｽ、配当込み、為替ﾍｯｼﾞあり）
【外国債券（ﾍｯｼﾞなし）】	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ：ｼﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（除く日本、円換算ﾍﾞｰｽ、為替ﾍｯｼﾞなし）

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

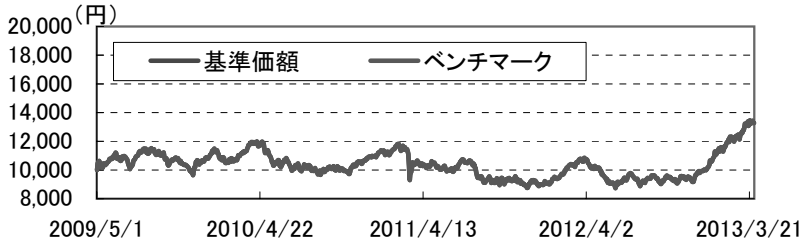
■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【各マザーファンドの運用状況】

2013年3月29日現在

◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは2009年5月1日の値を10,000として計算しています。
※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

●基準価額及び純資産総額

基準価額	14,271 円
純資産総額	309,189 百万円

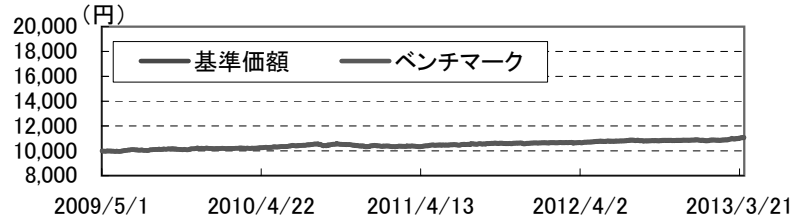
●騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	設定来 (2009/05/01)
ファンド	7.04%	21.47%	41.80%	23.84%	13.07%	32.80%
ベンチマーク	6.99%	21.46%	41.77%	23.82%	13.05%	32.68%
差	0.04%	0.01%	0.03%	0.02%	0.02%	0.12%

※設定来の騰落率は2009年5月1日を基準に算出しています。

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは2009年5月1日の値を10,000として計算しています。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

●基準価額及び純資産総額

基準価額	11,856 円
純資産総額	450,052 百万円

●騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	設定来 (2009/05/01)
ファンド	1.08%	2.20%	2.12%	3.69%	8.50%	10.48%
ベンチマーク	1.08%	2.19%	2.12%	3.72%	8.70%	10.89%
差	−0.00%	0.01%	−0.01%	−0.03%	−0.20%	−0.41%

※設定来の騰落率は2009年5月1日を基準に算出しています。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

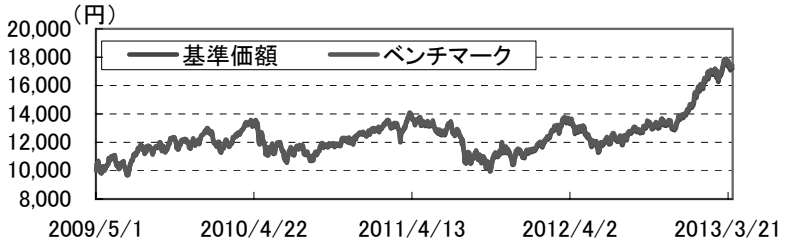
■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【各マザーファンドの運用状況】

2013年3月29日現在

◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは2009年5月1日の値を10,000として計算しています。
※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)です。

●基準価額及び純資産総額

基準価額	17,755 円
純資産総額	319,851 百万円

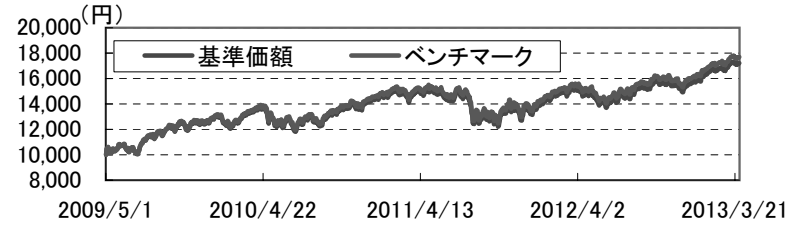
●騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	設定来 (2009/05/01)
ファンド	4.00%	16.84%	32.18%	29.32%	32.18%	72.03%
ベンチマーク	4.16%	16.99%	32.55%	29.99%	33.39%	74.18%
差	−0.16%	−0.15%	−0.37%	−0.67%	−1.20%	−2.16%

※設定来の騰落率は2009年5月1日を基準に算出しています。

◆為替フルヘッジ外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは2009年5月1日の値を10,000として計算しています。
※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース、配当込み、為替ヘッジあり)です。

●基準価額及び純資産総額

基準価額	17,859 円
純資産総額	1,695 百万円

●騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	設定来 (2009/05/01)
ファンド	2.57%	9.12%	10.18%	14.42%	28.68%	72.12%
ベンチマーク	2.66%	9.36%	10.50%	15.08%	30.98%	77.00%
差	−0.09%	−0.23%	−0.32%	−0.65%	−2.30%	−4.88%

※設定来の騰落率は2009年5月1日を基準に算出しています。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

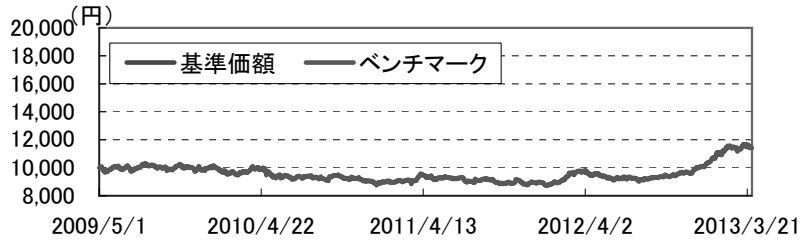
■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【各マザーファンドの運用状況】

2013年3月29日現在

◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

●基準価額の推移



●基準価額及び純資産総額

基準価額	14,471 円
純資産総額	404,558 百万円

※基準価額およびベンチマークは2009年5月1日の値を10,000として計算しています。
※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)です。

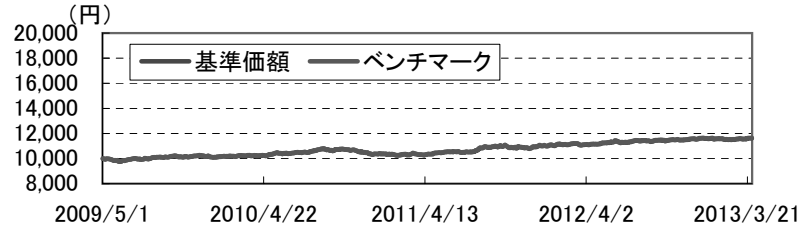
●騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	設定来 (2009/05/01)
ファンド	1.28%	6.73%	21.81%	17.80%	15.66%	14.28%
ベンチマーク	1.47%	6.81%	22.11%	18.22%	15.53%	14.13%
差	−0.19%	−0.08%	−0.30%	−0.42%	0.13%	0.14%

※設定来の騰落率は2009年5月1日を基準に算出しています。

◆為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

●基準価額の推移



●基準価額及び純資産総額

基準価額	12,068 円
純資産総額	157,142 百万円

※基準価額およびベンチマークは2009年5月1日の値を10,000として計算しています。
※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)です。

●騰落率

	1ヵ月 (2013/02/28)	3ヵ月 (2012/12/28)	6ヵ月 (2012/09/28)	1年 (2012/03/30)	3年 (2010/03/31)	設定来 (2009/05/01)
ファンド	0.58%	−0.02%	1.22%	4.58%	13.66%	16.11%
ベンチマーク	0.58%	−0.01%	1.26%	4.66%	13.71%	16.49%
差	−0.01%	−0.02%	−0.04%	−0.08%	−0.06%	−0.39%

※設定来の騰落率は2009年5月1日を基準に算出しています。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【各マザーファンドの組入状況】

2013年3月29日現在

◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。

●組入上位5銘柄

（組入銘柄:1684銘柄）

No.	銘柄	業種	比率 (%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.36
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.91
3	本田技研	輸送用機器	2.09
4	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.97
5	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.77

※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

●組入上位5業種

No.	業種	比率(%)
1	電気機器	11.44
2	輸送用機器	11.14
3	銀行業	10.77
4	情報・通信業	6.13
5	化学	5.63

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●組入上位5銘柄

（組入銘柄:601銘柄）

No.	銘柄	比率(%)
1	325回　利付国庫債券(10年)	1.49
2	326回　利付国庫債券(10年)	1.47
3	313回　利付国庫債券(10年)	1.31
4	105回　利付国庫債券(5年)	1.23
5	106回　利付国庫債券(5年)	1.23

●セクター別比率

	比率
国債	79.22%
地方債	6.74%
金融債	1.09%
政保債	4.04%
社債	8.14%
円建外債	0.21%
MBS	0.58%
ABS	0.00%
合計	100.00%

●ポートフォリオの状況

	ファンド
最終利回り	0.50%
平均クーポン	1.38%
平均残存期間(年)	8.67
修正デュレーション	7.61

※ポートフォリオの状況は純資産総額を基に計算しています。

◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。

●組入上位5銘柄

（組入銘柄:1258銘柄）

No.	銘柄	国	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	1.66
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.64
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロマリット	0.97
4	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.94
5	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.93

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

●組入上位5カ国

No.	国	比率
1	米国	56.88%
2	英国	9.69%
3	カナダ	4.98%
4	スイス	4.73%
5	オーストラリア	4.19%

●組入上位5業種

No.	業種	比率
1	エネルギー	10.86%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.55%
3	銀行	7.78%
4	資本財	7.37%
5	食品・飲料・タバコ	7.13%

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況
【各マザーファンドの組入状況】

2013年3月29日現在

◆為替フルヘッジ外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。

●組入上位5銘柄

（組入銘柄：1201銘柄）

No.	銘柄	国	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	1.68
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.64
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロマリット	0.97
4	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.93
5	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.93

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります（以下同じ）。

●組入上位5カ国

No.	国	比率
1	米国	56.93%
2	英国	9.73%
3	カナダ	5.01%
4	スイス	4.69%
5	オーストラリア	4.21%

●組入上位5業種

No.	業種	比率
1	エネルギー	10.90%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.54%
3	銀行	7.80%
4	資本財	7.43%
5	食品・飲料・タバコ	7.17%

◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●組入上位5銘柄

（組入銘柄：467銘柄）

No.	銘柄	通貨	比率(%)
1	US T N/B 4.75 05/15/14	米ドル	1.00
2	US T N/B 0.25 09/15/14	米ドル	0.95
3	US T N/B 4.25 11/15/14	米ドル	0.92
4	US T N/B 2.375 09/30/14	米ドル	0.86
5	DEUTSCHLAND 3.75 01/04/15	ユーロ	0.80

●ポートフォリオの状況

	ファンド
最終利回り	1.56%
平均クーポン	3.66%
平均残存期間（年）	7.88
修正デュレーション	5.98

※ポートフォリオの状況は純資産総額を基に計算しています。

●通貨別比率

通貨	比率
USドル	41.75%
カナダ・ドル	2.72%
メキシコ・ペソ	1.06%
イギリス・ポンド	7.54%
デンマーク・クローネ	0.84%
ノルウェー・クローネ	0.30%
ユーロ	41.20%
スウェーデン・クローネ	0.64%
ポーランド・ズロチ	0.77%
オーストラリア・ドル	1.62%
シンガポール・ドル	0.45%
マレーシア・リンギット	0.55%
南アフリカ・ランド	0.57%
合計	100.00%

◆為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●組入上位5銘柄

（組入銘柄：471銘柄）

No.	銘柄	通貨	比率(%)
1	US T N/B 0.375 03/15/15	米ドル	1.10
2	US T N/B 4.25 11/15/14	米ドル	0.89
3	US T N/B 2.625 06/30/14	米ドル	0.82
4	US T N/B 4.25 08/15/15	米ドル	0.80
5	US T N/B 0.375 06/15/15	米ドル	0.79

●ポートフォリオの状況

	ファンド
最終利回り	1.56%
平均クーポン	3.54%
平均残存期間（年）	7.86
修正デュレーション	5.99

※ポートフォリオの状況は純資産総額を基に計算しています。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況

2013年3月29日現在

■東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
■NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
■MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
■シティグループ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケッツ・インクに帰属します。

◆用語解説◆

■ 基準価額

投資信託に組み入れている株式や公社債などをすべて計算日の時価で評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこから投資信託の運用に必要な経費等を差し引いて純資産総額を出し、さらに計算日の受益権口数で割ったものです。

■ 参考指標

当ファンドが投資する各マザーファンドのベンチマークを、基本配分比率で合成したものを参考指標とします。

■ ファミリーファンド

ファンドが特定のファンドに投資する形態の商品設計のものをさします。受益者が購入するファンドをベビーファンド、そのファンドが投資するファンドをマザーファンドといいます。実質的な運用はマザーファンドで行うことにより運用の効率化を図っています。

■ ベンチーマーク

ベンチマークとは、市場平均を表す指標のことで、運用実績の良し悪しを判断するための基準値となるものです。なお、パッシブ運用においては、定められたベンチマークの動きに連動する運用成果を目標とします。

■ デュレーション

デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を意味するもので、債券デュレーションが長いほど金利変動に対する価格感応度が高くなります。このため、債券投資におけるリスク尺度として使用されています。

■ イールドカーブ

イールドカーブとは、公社債の償還までの期間（残存年数）を横軸、利回りを縦軸にとり、グラフを描き、描かれた曲線をいいます。利回り曲線とも言い、金利の期間構造の分析に用いられます。

■ クーポン

クーポンとは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

■ 為替ヘッジ

外貨建て資産に投資する際の為替変動リスクを回避する手法のことをいいます。なお、為替変動リスクとは、為替相場は、日々変動するため、海外の市場に投資する場合や、外貨建ての金融商品に投資する場合、為替変動によって差損益が生じる可能性があることをいいます。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント　DIAM ダイアム

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

MEMO

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用は、運用期間中の下記「保険関係費用（保険契約管理費）」、「資産運用関係費用（資産運用管理費）」および年金受取期間中の下記「保険関係費用（年金管理費）」を合計した金額となります。また、運用成果を確保した場合は「運用成果確保時費用」が、運用成果を確保する前に解約・積立金の一部引出をした場合は「解約控除」が、経過年数に応じて別途かかります。

	項　目	内　容	費　用	備考（適用時期等）
運用期間中	保険関係費用（保険契約管理費）	新契約成立および維持管理等に必要な費用（基本保険金額を最低保証するための費用等を含みます）	年率**2.78**%	特別勘定（ファンド）の純資産総額に対して左記の年率／365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*1（資産運用管理費）	保険関係費用（保険契約管理費）以外で、特別勘定（ファンド）の運用にかかる費用（信託報酬率を記載しています）	年率**0.21**%（税抜 年率0.20%）程度	特別勘定（ファンド）の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して左記の年率／365日を乗じた額を毎日控除します。
運用成果確保時	運用成果確保時費用	ご契約日から1年以上6年未満に運用成果を確保した場合にかかる費用	**5.0**%～**1.0**%	ご契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に左記の率を乗じた額を積立金額から控除します。
解約・積立金の一部引出時	解約控除	ご契約日から6年未満に解約もしくは積立金の一部引出をした場合*2にかかる費用	**6.0**%～**1.0**%	ご契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額*3に左記の率を乗じた額を積立金額（積立金の一部引出の場合は一部引出額）から控除します。
年金受取期間中	保険関係費用（年金管理費）	ご契約の維持管理等に必要な費用	**1.0**%	年金支払開始日以降、年金年額に左記の率を乗じた額を年金支払日に責任準備金から控除します。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 据置期間付確定年金へ移行した後の積立金の全額引出・一部引出には解約控除はかかりません。

*3 積立金の一部引出の場合は、一部引出により減額される基本保険金額となります。

投資リスクについて

この商品は将来受け取る年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等が特別勘定（ファンド）の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険（変額個人年金保険）です。特別勘定（ファンド）の資産運用には、価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク等の投資リスクがあり、これらの投資リスクをすべてご契約者が負うことになります。したがって、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、積立金額・解約払戻金額等が一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。また、積立金の自動移転が生じた場合には、特別勘定（ファンド）の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■「ハイタッチ（変額個人年金保険GF（Ⅳ型）<年金原資保証特約（Ⅳ型）付加>）」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「ハイタッチ（変額個人年金保険GF（Ⅳ型）<年金原資保証特約（Ⅳ型）付加>）」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額（一時払保険料相当額）を下回った場合には、年金原資は基本保険金額（一時払保険料相当額）の100%が最低保証されます。ただし、年金原資が保証されるためには、運用期間（契約日から10年間）満了まで運用いただくことが必要です。運用期間中に解約・積立金の一部引出をした場合の解約払戻金額には最低保証はありません。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
〒167-0043
東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー
TEL 03-6383-6811（大代表）
ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは
0120-155-730
受付時間　月～金／9:00～17:00
（祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。）